

いたくら 議会だより

今月の 主な内容

- ◆臨時議会・議会構成 2 P
- ◆3月定例会・議案審議 3 P
- ◆平成29年度予算審査 5 P
- ◆一般質問（4人） 9 P
- ◆議会報告会・議会日誌 13 P
- ◆町政へ一言 14 P

2017 6 / 1

第141号



群馬の水郷 揚舟 谷田川めぐり
谷田川の新緑映える柳山を眺めながら

議会構成が決まりました

平成29年第1回板倉町議会臨時議会が5月8日(月)に開催されました。

臨時議会では、各常任委員の選任及び議会運営委員の選任並びに一部事務組合議会議員の選挙が行われました。また、町から提案された監査委員の選任については、青木秀夫氏が全会一致で同意されると共に、専決処分事項の承認2件、役場庁舎建設に係る請負契約の変更契約議案1件が審議され、いずれも全会一致で可決となりました。

- ◆ 同意事項 ◆
- 監査委員の選任について
- ◆ 専決処分事項 ◆
- 専決処分事項の承認について

- 専決処分事項の一部改正
- ◆ 契約議案 ◆
- 工事請負契約の変更契約締結について

- 常任委員の選任
- 各常任委員会の委員について

では、議長が会議に諮って指名することとなり、議員の申し合わせにより、各議員の希望を聴取し、選考委員によって選出された議員を議長が指名しました。

- ① 総務文教福祉常任委員会
- ② 産業建設生活常任委員会
- ③ 予算決算常任委員会

議会運営委員の選任

議会運営委員については議長が会議に諮って指名することとなり、議員の申し合わせにより、3名は各常任委員長が選任され、残りの3名は各常任委員会から1名ずつ選任された議員を議長が指名しました。

一部事務組合議会議員の選挙

一部事務組合議会議員の選挙については、議会運営委員会にて選任し、議長の指名推薦により各組合議会議員が選出されました。

- ① 邑楽館林医療事務組合
- ② 館林衛生施設組合
- ③ 館林地区消防組合
- ④ 群馬東部水道企業団

議会構成

議長 青木 秀夫

副議長 平成29年5月19日付けで副議長が辞職願を提出し、議長が許可したため、欠員となっています。

総務文教福祉常任委員会

委員長 荒井 英世
副委員長 針ヶ谷稔也
委員 市川 初江
委員 黒野 一郎
委員 島田 麻紀夫
委員 青木 秀夫

議会運営委員会

委員長 市川 初江
副委員長 本間 清
委員 小森谷幸雄
委員 荒井 英世
委員 島田 麻紀

産業建設生活常任委員会

委員長 小森谷幸雄
副委員長 亀井 伝吉
委員 延山 宗一
委員 今村 好市
委員 本間 清
委員 小林 武雄

一部事務組合議会議員

- 邑楽館林医療事務組合 議員 荒井 英世 島田 麻紀
- 館林衛生施設組合 議員 今村 好市 本間 清
- 館林地区消防組合 議員 市川 初江 小林 武雄
- 群馬東部水道企業団 議員 黒野 一郎

予算決算常任委員会

委員長 小森谷幸雄
副委員長 市川 初江
委員 全 議員

3月定例議会

◆ 本会議・議案審議



平成29年第1回板倉町議会定例会が、3月2日から17日までの16日間の日程で開催されました。

今回の定例会では、同意2件、専決処分事項の承認1件、条例の一部改正議案8件、役場庁舎非常用電源設備工事の契約に係る議案1件、補正予算議案4件のほか、平成29年度一般会計予算及び各特別会計予算議案4件を含めた全22議案が審議され、いずれも原案のとおり可決となりました。

一般会計・特別会計の補正予算を可決 役場庁舎非常用電源設備工事契約議案を可決 一般質問に4人が登壇

3/2 (木)
議会初日

人事案件

◆ 板倉町副町長の選任について
現在空席となっている板倉町副町長に中里重義さん(大字板倉)を選任することに同意しました。

◆ 板倉町教育委員会委員の任命について

前板倉町教育委員でありました増田靖夫さんが平成29年1月18日をもって任期満了となったため、後任者として小菅富子さん(大字初谷)を任命することに同意しました。

専決処分事項

◆ 専決処分事項の承認について(平成28年度板倉町一般会計補正予算(第6号))
来年度からの資源物収集箇所については、当初旧行政区ごとに1箇所としていましたが、収集箇所を増やして欲しいとの要望や意見が多数寄せられたことから、家庭系ごみステーション全体を収集対象とするため、資源物収集運搬業務委託料の債務負担行為限度額を2,532万6千円から2,880万4千円に増額するものです。

条例の一部改正

◆ 板倉町税条例等の一部改正について
「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改

革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律」の公布に伴う改正であり、次の改正を行うものです。

- ① 個人住民税における住宅ローン減税措置の適用期限の延長
- ② 軽自動車税におけるグリーン化特例の延長及び消費税率10%への引き上げ時に施行される軽自動車税の環境性能割の導入
- ③ 消費税率10%段階における法人住民税率の引き下げ

◆ 板倉町福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について

子どもの福祉医療費支給対象者については、現在中学校卒業までとなっていますが、子育て支援の拡大を図るため、16歳から18歳までの入院医療費及びそれに伴う食事療養費

についても無料化とするものです。

◆ 板倉町役場庁舎非常用電源設備整備事業非常用電源設備工事の契約について
板倉町役場庁舎非常用電源設備整備事業に係る非常用電源設備工事の契約を締結するにあたり、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めるものです。なお、契約金額については、3,650万4千円、契約相手については菅谷電気工事㈱代表取締役 大塚和彦(前橋市大渡町1-23-15)となります。

◆ 町道路線の廃止について

安勝寺(大字初谷)から、現況が墓地への専用の出入り口となっている町道路線022号線について、町道路線廃止の協議があり、現状を慎重に



平成29年度予算

会計区分	本年度	前年度	
一般会計	58億7,600万円	64億2,200万円	
特別会計	後期高齢者医療	1億3,914万円	1億3,340万円
	国民健康保険	25億 357万円	22億5,968万円
	介護保険	12億5,083万円	12億2,853万円
	下水道事業	1億8,848万円	1億8,619万円
合計	99億5,802万円	102億2,980万円	

- 一般会計58億7,600万円**
- 支出の主な内容**
- 総務費 12億1,519万円
 - ①庁舎建設事業 ②庁舎非常用電源設備整備事業 ③産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業 ④合併対策事業
 - 民生費 18億19万円
 - ①福祉医療費支給事業 ②南児童館解体撤去事業 ③子育て支援金事業
 - 衛生費 5億7,006万円
 - ①がん対策強化推進事業 ②不妊症及び不育症治療費助成事業 ③広域ごみ処理等に係る負担金
 - 農林水産業費 3億9,144万円
 - ①産地ハワーアップ事業 ②担い手育成・就農支援事業 ③農業基盤整備促進事業 ④農地耕作条件改善事業
 - 商工費 6,967万円
 - ①三県境整備利活用事業 ②商工業振興事業 ③企業立地促進事業
 - 土木費 4億5,779万円
 - ①町単独道路整備事業 ②道路維持事業 ③移住促進事業
 - 消防費 2億7,695万円
 - ①館林地区消防組合負担金 ②広域広報防災システム調査事業 ③洪水避難タワー整備事業
 - 教育費 6億6,350万円
 - ①小学校給食事業 ②中学校給食事業 ③英検検定料助成事業 ④板中学校舎改修事業
 - 公債費 3億3,061万円
 - ①長期償還元金及び利子

平成29年度予算を全会一致で可決 総額99億5,802万円

板倉町議会基本条例の制定とあわせて設置した予算決算常任委員会において、昨年同様に4日間の日程で集中的に、平成29年度における一般会計及び特別会計の予算審査を行いました。紙面では、予算決算常任委員会での主な質疑内容についてお伝えします。

審査した結果、廃止しても支障がないことから町道路線廃止するものです。

主な補正予算質疑

初日の本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、補正予算関係議案4件の審査を行いました。

議案第11号 平成28年度板倉町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億1,920万円を減額し、歳入歳出予算の総額を65億4,159万円とするものです。

小森谷委員

産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業の地球温暖化対策奨励金が1,200万円減額とある。減額ということは温暖化対策の環境整備が行われなかったということなのか伺いたい。

橋本産業振興課長

制度の内容については、温暖化対策として国等からの補助金を除いた額の30%で、上限が300万円となっております。当初予算の段階で4社分

を計上していたが、企業側の計画変更等により、制度が使われなかったということである。

市川委員

木造住宅耐震改修促進事業及びアスベスト対策促進事業については、ほぼ全て減額されているが、毎年何人くらいの方が申し込んでいるのか伺いたい。

高瀬都市建設課長

木造住宅耐震改修促進事業については、耐震診断者派遣、相談会、耐震改修とに分かれており、診断者派遣の申込みや相談が2件程度あるが、耐震改修とアスベスト対策促進事業の申請は、これまで実績がない。

島田委員

学童保育整備運営委託事業の放課後児童クラブICT化補助金とあるが、どのような内容か伺いたい。

根岸福祉課長

ICT化とあるが、内容としては学童クラブの事務処理

の効率化を図るため、パソコンの購入費用を補助するというものである。

針ヶ谷委員

民間保育所等補助事業というところで272万8千円を増額しているが、利用した人数によるものなのか伺いたい。

根岸福祉課長

補助金額に関しては、延長保育促進事業と低年齢保育事業は人数で、一時預かり事業は人数と単価で、地域子育て支援拠点事業は事業メニューによる加算分があり、いずれも増額となった。食物アレルギー対策事業については人数により減額となっているが、事業全体としては増額ということである。

小林委員

住宅用太陽光発電システム設置補助金が300万円の減額となっているが、理由を伺いたい。

山口環境水道課長

1件当たりの上限を10万円と設定しているため、当初予

算では70件分の700万円を計上していたが、昨年度の実績が35件、今年度は現在のところ30件である。年度末まで期間があるので、40件分までの予算を残して減額するものです。



▲住宅に設置された太陽光発電システム

本間委員

個人番号カードの交付事務費の減額とある。板倉町の個人番号カードの普及率については7%くらいであると思うが、実際の申請件数はどのくらいか伺いたい。

峯崎戸籍課長

平成28年2月末時点で610件の申請があり、昨年4月と5月は月100件程度であったが、その後は徐々に減少して月当たり10件程度の実績と

なっている。

延山委員

板倉保育園運営事業の防犯カメラ改修工事費ということと25万円の追加とある。12月補正で北保育園の防犯カメラを1台増設しているが、設置の状況について伺いたい。

根岸福祉課長

北保育園については、敷地が広いということで、前回防犯カメラ1台を増設し、モニターも新しいものに交換した。今回については、器機の交換時期ということで、板倉保育園に設置されている防犯カメラ2台とモニター1台を新しいものに交換するものです。



▲新しい防犯カメラに交換となる板倉保育園

新規等・拡充・重点事業の予算を集約的に審査

企画財政課

荒井委員

板倉町PR大使事業については、以前議会の一般質問の答弁で現在人選中とのことであった。予算上10人分が計上されているが、職業などの人選方法について伺いたい。

小嶋企画財政課長

現在10人の方を候補者として人選しているところである。他の市町村では、芸能活動を行っている方が多いと思うが、本町においては、板倉町の出身で他の市町村で活躍されている方ということで、音楽活動、スポーツ活動等、職業を問わない。また、人数についてもより多くの方にお願いできればと考えている。

延山委員

まちづくり協働事業補助金ということで120万円、新規3団体、継続3団体の予算が計上されている。これまでの経過と補助事業の内容につ

いて伺いたい。

小嶋企画財政課長

本事業については、平成25年度から昨年度まで補助金額の上限を10万円として実施し、10件が採択となっていた。平成28年度からは更なる活性化を期待して、上限を30万円としたが、2件の申請で2件の採択にとどまった。公共性のある事業という原則があるため、本来の目的は維持しつつも、使い勝手のよい事業としていきたいと考えている。

福祉課

黒野委員

防犯カメラについては、北保育園に3台、板倉保育園に2台ということで、過日新しいものに交換している。児童館についても人の出入りが多いと思うが、防犯カメラの設置状況について伺いたい。

石川児童館長

児童館については、出入りが2カ所ある。それぞれに防犯カメラが設置されており、その様子については事務室から確認できるような体制

となっている。



▲防犯カメラが設置されている板倉町児童館

市川委員

民生委員児童委員活動推進事業費が昨年度と比較して、66万円程減額されているが、理由を伺いたい。また、月に何回くらい訪問活動を行っているのか伺いたい。

水玉社会福祉係長

民生委員さんについては、3年に1度の全国一斉改選ということで、平成28年度に改選を行った。平成29年度についてはその費用がからないため減額となっている。また、訪問、相談等を含めて月平均11日から12日くらいは活動していたらいい。

総務課

市川委員

洪水避難タワー整備事業ということで予算が計上されている。収容人数が約100名とのことだが、完成時期等について伺いたい。

根岸総務課長

洪水避難タワー整備事業に関しては、設計委託費として108万円を計上しており、下五箇地区に洪水時の緊急一時避難用のタワーを建設するというものであり、完成は平成30年度を予定している。

小林委員

広域広報防災システム調査事業ということで5万円が計上されているが、今後の調査予定について伺いたい。

根岸総務課長

本事業については、電波を利用した個別強制受信の調査費であり、平成29年度のうちには方向性を出して、かつ議会と相談をしながら、最終的に内容を決めていきたいと考えている。

亀井委員

毎年、避難訓練を行っているが、行政区ごとに訓練方法に差があるように感じている。水害や地震はいつ起こるか分からないので、訓練だからということではなく、しっかりと実施して欲しいと思うがどうだろうか。

小林行政安全係長

避難訓練では、情報伝達から始まり、避難完了時の完了報告をいただくことで実際の避難時間を確認している。決められた手順により訓練をしていたらいいと思うが、全行政区において議員ご指摘のような手順によらない訓練とならないよう、行政区と調整を図っていきたい。

戸籍税務課

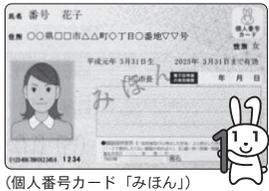
小林委員

個人番号カードの交付から約1年経過した。紛失した場合の手続きと再発行の手続きについて伺いたい。

森田戸籍年金係長

個人番号カードを紛失した

◆予算決算常任委員会（新年度予算審査）



▲紛失したらカード機能の一時停止を

針ヶ谷委員

町税徴収管理業務の委託料の減額については、口座振替の際、残高不足等によって振り替えができなかった方への再振り替えを廃止するものということだが、内容を詳しく伺いたい。

長谷見収税係長

月末の口座振替替え時に振り替えられなかった方については、これまで翌月に再度の

青木委員

国有資産等所在市町村交付金については、前年度より減額となっている。板倉ニュータウン内の太陽光発電施設については、交付金が交付され始めてから2年目、3年目である。平成29年度の見込額について伺いたい。



▲板倉ニュータウン太陽光発電所

小野田資産税係長

板倉ニュータウン内の太陽光発電施設については、償却資産としての金額となりますが、平成27年度から交付金が

健康介護課

島田委員

不妊症及び不育症治療費助成金に一般不妊治療助成と男性不妊治療助成とあるが、これまでの問い合わせ件数と助成を受ける場合の年齢制限について伺いたい。

落合健康介護課長

新たに追加した一般不妊治療助成と男性不妊治療助成に関しては問い合わせについてはこれまでない。年齢制限については特に設けていない。

今村委員

国民健康保険特別会計繰出金ということで2,690万円程増額となっている。その要因としては、C型肝炎治療薬の調剤によるものが大きいと思うが、何人分を見込んでいいのか。また、完治率は何%か伺いたい。

総務課

市川委員

洪水避難タワー整備事業ということで予算が計上されている。収容人数が約100名とのことだが、完成時期等について伺いたい。

根岸総務課長

洪水避難タワー整備事業に関しては、設計委託費として108万円を計上しており、下五箇地区に洪水時の緊急一時避難用のタワーを建設するというものであり、完成は平成30年度を予定している。

小林委員

広域広報防災システム調査事業ということで5万円が計上されているが、今後の調査予定について伺いたい。

根岸総務課長

本事業については、電波を利用した個別強制受信の調査費であり、平成29年度のうちには方向性を出して、かつ議会と相談をしながら、最終的に内容を決めていきたいと考えている。

亀井委員

毎年、避難訓練を行っているが、行政区ごとに訓練方法に差があるように感じている。水害や地震はいつ起こるか分からないので、訓練だからということではなく、しっかりと実施して欲しいと思うがどうだろうか。

小林行政安全係長

避難訓練では、情報伝達から始まり、避難完了時の完了報告をいただくことで実際の避難時間を確認している。決められた手順により訓練をしていたらいいと思うが、全行政区において議員ご指摘のような手順によらない訓練とならないよう、行政区と調整を図っていきたい。

戸籍税務課

小林委員

個人番号カードの交付から約1年経過した。紛失した場合の手続きと再発行の手続きについて伺いたい。

森田戸籍年金係長

個人番号カードを紛失した

都市建設課

小森委員

住宅取得支援補助金については、平成28年度同様20件分の予算計上である。平成28年度の予算については上限の20件に達しており、人口減少社会において町の重点事業であるならば、上限を超える状況においては、増額補正をする必要があると思うがどうか。

高瀬都市建設課長

町の総合戦略に掲載されている事業であり、重点事業でもあるため、今後の申し込み状況を見ながら、財政部局と相談しながら、検討していきたい。

今村委員

町単独道路整備事業について

高瀬都市建設課長

町の全体的な財政の関係上、3,200万円が減額となった。地権者にもそのように説明をしてきているので、担当課とすれば1路線でも多く工事をしたい考えである。

荒井委員

土地地区画整理組合支援事業として予算計上されている。川入東土地地区画整理の事業関係であるが、進捗状況について伺いたい。

高瀬都市建設課長

本事業については平成6年に川入東部開発研究会が、その後川入土地地区画整理組合設立準備会が組織され、平成19年3月時点で同意率86%のまま現在に至っています。役員会では、事業を一時凍結して

環境水道課

本間委員

指定袋売払手数料については予算が削減されている。指定ごみ袋については、使い切るという説明だったと思うが、返金をするようになった経緯について伺いたい。

山口環境水道課長

1市2町によるごみ処理の広域化に伴い、指定ごみ袋が廃止となった。住民説明会では使い切るようにと説明してきたが、その後、ごみ処理料としてごみ袋を販売してきたということから、返金を行うようになった。

島田委員

ごみ分け方・出し方外国語翻訳作成委託料ということで予算が計上されている。ごみの分け方、出し方を英語表記にするということなのか。

星野環境係長

ごみの分け方、出し方につ

いて、町内に居住する外国人の方向けにベトナム語、英語、中国語の3カ国語で翻訳をするものです。

産業振興課

延山委員

三県境整備利活用事業というところで160万円を計上しており、栃木市、加須市、板倉町の2市1町で整備を進めていくということだが、計画について伺いたい。



▲2市1町での整備が予定される三県境

遠藤産業政策係長

今年度の予算に関しては、2市1町で事業計画を立て整備しては現地の測量設計、誘導案内板の設置、遊歩道の整備などを行うことになっている。

針ヶ谷委員

産地パワーアップ事業については、平成28・29年度の2カ年計画で3経営体2・7ヘクタールの取り組みということだが、次年度以降に取り組むような場合の情報提供については、どのように考えているのか伺いたい。

橋本産業振興課長

産地パワーアップ事業の施設関係では、5ヘクタールの面積や販売額10%以上向上などの要件がある。農業者に直接、または農協と連携しながら、積極的に情報を提供していきたいと考えている。

青木委員

産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業についてだが、商業施設の奨励金制度について伺いたい。

遠藤産業政策係長

板倉ニュータウン地区内の商業施設については、固定資産税100%相当額を奨励金として5年間交付することになっている。また、定期借地の場合については、土地の固

定資産税は発生しないが、固定資産相当額を群馬県企業局から交付金という形で交付されることになっている。

教委事務局

小森谷委員

英検検定料助成事業については、平成29年度県内で5町村が新たに実施する。県内では先行した取り組みとなるが、英語教育の充実ということから、今後どのように制度を活用していくのか伺いたい。

鈴木教育長

具体的には決まっていない。平成29年度から群馬県において10名のコーディネーターを派遣する計画がある。その派遣を利用することになるかというように思っている。実績も上げていく必要があると考えており、現在進行中である。

本間委員

小学校及び中学校給食事業ということで6,300万円が計上されている。子育て支援ということだと思うが、給

栗原町長

本事業に関しては、議員ご指摘のような心配はあるが、狙いとしては子育て世代をサポートすることにある。給食費の無料化で食を大事にしなくなるような心配もあるが、一歩踏み込んだ中で、ある意味では試験的といったところもある。無駄なようであれば勇気をもって廃止することも含めて、既に子ども会や育成会など、いろいろな場面で話しをしてきており、正解がない中で暗中模索として一つの切り札ということでご理解いただきたい。

委員会採決

予算決算常任委員会では、平成29年度一般会計及び特別会計予算の全ての議案について、原案どおり可決すべきものとして決定しました。なお、最終日の議会定例会本会議において、原案どおり可決決定となりました。

◆予算決算常任委員会（新年度予算審査）・一般質問

一般質問

2月21日
3月3日

①本間 清 議員

栗原町政「町の課題解決」に
更なるリーダーシップの発揮を！



3期目の町長の思いとは

問・町の課題解決に栗原町政3期目の思いと決意とは。

答・町長 町長としての思いとは何年たつても町の課題解決にあり、謙虚な姿勢で取り組み、当選回数が増えるほど難しい課題が残るが、より慎重に対応していくことを心がけている。そういう姿勢を堅持するため、いつも申し上げているが、この10年間私的な旅行一つ一切していない。それは自ら手を挙げ町民の期待に応えるという当然の姿勢だ

合併の時期は

問・館林市との合併協議会が昨年11月より延期されているが、町長在任中に合併の結論は。

答・町長 合併の話が起きてから1年以上が経過したが、館林市長の逝去に伴い、いろいろな不測の状態も考えられ、いくら議論してもためなものはだめで、短時間でも決めるものは決まるので、過去の自分の言動の責任も含め、推進論者の一人としてリーダーシップを発揮し、遅れても1、2年の間に方向づけをし、合併の時期についてはどんな状態が起きてても任期

住民投票の考えは

問・合併について住民投票を実施するべきか。町長の考えは。

答・町長 基本的人権の1票の権利を尊重する考えなら、すべてのことに對して一つ一つ住民投票の中3年後ぐらいには考えている。



▲協議会から発行される「合併協議会だより」

空き家対策は

問・空き家対策と特定空き家の行政代執行について、町の考えは。

答・総務課長 空き家対策を進めるには防災の観点、環境衛生面、空き家の利活用の3つを、空き家の進めていくことが必要である。空き家はあくまでも個人財産であり、勝手に家の中に入る調査はできないが、外観上の判断で人が住める状態でない朽ちた家は現在9件確認し

を実施するのが一番民主的であるが、それでは時間もないし決まらない。難しい条件の中、判断できない場合や意見が全く拮抗しているというように、最後の手段としての住民投票は避けて通れないと考えている。これが実施された場合、自分の思っている結果と違っているも基本的には町長が立ち入ることはできない。議会が判断の基準として住民投票結果を参考にし、議決することになる。

※「特定空き家等」とは、そのまま放置すれば倒壊等著しく保全上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となる恐れのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るため放置することが不適切である状態にあると認められる空き家等という。(空家等対策の推進に関する特別措置法より抜粋)

一般質問

議会 2日 目
3月 3日 日 論

② 荒井 英世 議員

町の地域資源の活用を進めるために
官民一体で取組める体制づくりが必要



予算編成と行政評価の関係は

問・町の中期事業後期計画を踏まえ、各事業毎に行政評価を実施し、予算編成をしていると思うが、町の場合、行政評価は事後評価で実施している。これだと次年度の予算編成に当たって生かすことが難しい。そこで、各課で予算要求する時期に途中評価をするシステムをつくる考えはないか。

答・企画財政課長 途中での事務事業評価については各課局で個別に実施し、翌年度の予算編成の参考にしていくと思うが、そ

総合戦略新規事業の進捗状況は

問・総合戦略事業は新規事業が20事業あるが、主な事業の進捗状況は。

答・都市建設課長 空き家利活用事業は実施に向けて、課題の整理・情報の収集を行っている。

答・健康介護課長 健康づくり推進事業は、各行政区に2名の推進委員を委嘱し、ステップアップ事業のお手伝いをしている。

答・産業振興課長 観光と農業との連結を図る、実りの里事業は平成29年度以降に実施予定であるが、制度面を含めて先進地の事例

総合戦略の検証体制は

問・総合戦略を効果ある方法で実施するには、事業の検証が必要であるが、どのように行うのか。

答・企画財政課長 事務事業評価と合わせ検証を行っていきたい。平成28年度の検証作業は有識者会議を設け、その中で行いたい。

郷土愛を育む学校現場での学習は

問・人口減少の中でこれから

知名度向上に向けた取組みは

問・町の知名度を上げることが、町にどれだけ魅力があるか、ということだと思いが、それは移住・定住の促進にもつながる。遊水地・水場の景観など、地域資源の活用は官民一体となって取組む必要がある。そのためには官民一体の協働をつくくり、情報発信の強化を図ることが必要だと思いが。

答・企画財政課長 現在、関係部局、団体等で取組んでいると思うが、一つにまとめた組織はないので、今後の検討課題としてい。

なますサミット今後の展開は

問・去る2月18日に埼玉県吉川市で「なますサミット」が開催されたが、参加団体の今後の交流は、産業振興課長 全国でナマズに縁のある自治体が7団体参加したが、今後は参加自治体を持ち回りで開催し、それぞれがPR活動をするという提案が出されたので、関係者と相談しながら詰めていきたい。



▲全国なますサミット2017 in 吉川の様子

一般質問

議会 2日 目
3月 3日 日 論

③ 小林 武雄 議員

高齢運転者の支援策を充実し
免許証自主返納の推進を



免許証返納後の
広域的移動手段は

問・館林警察署管内の高齢者の交通事故の状況と発生原因は。

答・総務課長 事故件数は、平成25年度が188件、26年度が187件、27年度が156件、今年度は12月末現在で113件となり、高齢者の占める割合は、全体の事故の32.5%となっている。また、事故の原因を見ると、前方不注意と安全不確認などの安全運転義務違反が全体の半分をしめている。

問・平成10年度より運転免許証の自主返納制度が始まり、加齢による身体機能や認知機能の低下により、全国的に高齢者の運転免許証の返納が増加傾向である。また、群馬県でも2015年に4,000件、2016年は4,482件と過去最多を更新している。そこで館林警察署管内の現状は。

答・総務課長 平成27年度板倉町で16件、明和町で18件、館林市で132件、合計166件。平成28年度は2月14日現在で、板倉町が22件、明和町が18件、館林市が129件、合計169件の方が返納している。

問・高齢者が運転免許証を返納した後の移動手段に、

現在では広域路線バス、福祉タクシーがあるが、今後の支援策は。

答・総務課長 先進事例としてデマンドシステムがある。予約をし、乗り合う人を時間に合わせ順次迎えに行き、目的地まで送



問・将来的には、板倉町でも必要性が生じた場合検討したい。

最近、自動車メーカーの安全への開発が進み、先進安全自動車普及され、高齢者が購入する場合の補助制度の導入は。

答・総務課長 現在は自動ブレーキだけみたいなどころがありますが、将来的には2020年東京オリンピックを一つの目標年度として国も自動運転を推進すると思われるので、自動運転の技術的な進歩等も含め、また財政とも相談しながら検討したい。

自校式学校給食は
食育にも効果大

問・飽食の時代における学校給食の担う意味、栄養面、エネルギー面から子供達の成長に不可欠ですが、好き嫌いで食べ残し等が有ると聞か、当町の現状は。

答・教育委員会事務局 残飯についても、2年に一度

問・当町の食物アレルギー體質の方が何名いて給食の対応は。

答・教育委員会事務局 現在東小で6名、西小で2名、南小で1名、北小はおりません。小学校で計9名です。板中につきましては7名、小中学校合わせて16名です。給食の対応ですが、町内に2名の栄養教諭が配置されており、それぞれの学校で給食献立に沿った中で、保護者との打ち合わせをしながら、対応している。

将来を担う人材をどのように育てるのか



町職員の採用と働き方について

問・国会でもワークライフバランスが議論されているが、町一番のサービス産業である役場の状況はどうか。

答・総務課長 職員は勤務時間は一、勤務時間、休暇等に関する条例及び規則”によって、午前8時30分から午後5時15分までとなっており、午後12時から1時までは昼休みとなっており、残業に関しては、残業の理由と時間を上司に申請し、許可を得て行う。残業の手当は

問・一般職員の採用について、高卒では採用されないのか。

答・総務課長 平成20年度の採用試験で、高卒を対象に採用試験を行ったが、高校生の応募がなかった。平成21年度からは大卒以上の基準とした。近隣市町の状況は、大卒のみが千代田町、邑楽町。大卒で行い、短大卒・高卒で補充するは館林市、大泉町。高卒以上は明和町。ただし、実際採用となるのは大卒、板倉町については現状で30名、40名の応募があり、選考には十分な人数であり、現時点での高卒の採用は検

問・町立保育園の職員数と採用条件は。

答・福祉課長 板倉保育園で正職6名、臨時11名。北保育園で正職6名、臨時7名。

問・県と市町村の人事交流による実務研修について説明願いたい。

答・総務課長 群馬県庁との人事交流。基本的に1年間町の職員を派遣して研修をつむ。平成8年から15年までの8年間に11名派遣した。主に総務部、企画部、土木部関係に送った。板倉ニュータウンの開発事業の関係で、知識や技術を習得するために実施した。

問・制度を利用して、将来の板倉町を背負える人材を育成するべきと考えられているのか。

答・町長 人事交流によって補助金が余計に貰えることは無い。県は公平公正に予算つけてくれる。前町長は県の町村会長をしていった時代、いつも知事の隣に座り、役場の仕事に疎かになるくらい出張してなんの手土産もなかった。

県との人事交流実務研修について

答・町長 改善する考えはない。均等でないという判断もできるが、過去には同じにやられてはたまたまという意見もあった。見解の相違である。



一般質問

第3回 議会報告会を開催しました



平成29年2月25日(土)午後6時から、中央公民館を会場に「町民と歩む・開かれた議会を目指して」と題して、第3回目となる議会報告会を開催しました。

議会報告会の内容

今回の報告会では、3つの委員会の委員長が、分野ごとに活動内容を報告したあと、館林市・板倉町合併協議会の委員が報告を行いました。

報告内容は以下のとおりです。

- 総務文教福祉常任委員会**
 - ・小学校再編の審議経過と小学校再編準備委員会のスケジュールについて
 - ・役場新庁舎の概要と建設スケジュールについて
- 産業建設生活常任委員会**
 - ・企業、商業誘致の現状と三県境整備について
 - ・農村整備及び道路、架橋整備事業内容について
 - ・広域ごみ処理事業の現状について
- 予算決算常任委員会**
 - ・予算決算常任委員会の設置目的について
 - ・事務事業評価の必要性と実施方法について
 - ・事務事業評価の審査結果及び町の対応について
- 館林市・板倉町合併協議会委員**
 - ・合併協議会の組織について
 - ・審議、協議の内容について
 - ・「新設合併」と「編入合併」の主な違いについて

ご多用中、ご参加いただきました皆様、心より感謝を申し上げます。

議会報告会・議会日誌

議会日誌

2月

- 1日 いたくらリサイクルセンター起動手式
- 6日 第2回板倉町立小学校再編準備委員会
- 8日 群馬東部水道企業団2月定例会
- 10日 板倉中学校立志式
- 17日 邑楽郡町議会議員研修会
- 21日 議会運営委員会/議員協議会/議員全員協議会
- 22日 例月出納検査
- 25日 第3回議会報告会

3月

- 1日 板倉高等学校卒業式
- 2~17日 3月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会) 議員協議会、議員全員協議会、議会広報特別委員会
- 13日 板倉中学校卒業式
- 23日 町内小学校卒業式
- 24日 板倉・北保育園卒園式/邑楽郡議長会定期総会
- 27日 一部事務組合議会3月定例会 邑楽郡町村監査委員連絡協議会情報交換会
- 29日 例月出納検査

4月

- 2日 板倉消防団辞令交付式
- 6日 板倉・北保育園入園式
- 7日 町内小学校・板倉中学校入学式
- 10日 板倉高等学校入学式
- 14日 議会広報特別委員会
- 21日 議会運営委員会/議員協議会/議員全員協議会
- 26日 例月出納検査

5月

- 8日 臨時議会
- 11日 議員全員協議会
- 17日 邑楽郡町村監査委員連絡協議会定期協議会
- 19日 議会運営委員会/議員協議会/議員全員協議会
- 22日 第4回館林市・板倉町合併協議会
- 24日 邑楽郡議長会臨時会
- 30日 例月出納検査
- 31日 全国町村議会議長・副議長研修会

邑楽郡町議会議員研修会



2月17日(金)、ジョイハウス(館林市)において、邑楽郡町議会議長会主催による邑楽郡町議会議員研修会が開催されました。研修会では、甘楽郡下仁田町副町長の吉弘拓生氏を講師にお招きし、『これからのふるさと創生の動きについて』と題して講演をいただきました。講演では、「なぜ地方創生が必要なのか」、「経営的視点で地域を分析し、地域資源の棚卸しを行うことが必要」など、有意義な研修会となりました。

多

様化する保育ニーズ

安心して子育てができる町を目指して

朝日野 小林雅幸さん



近年、少子化・核家族化の進行や共働き家族の増加により、子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。子育て

と仕事の両立を阻む要因の一つに、子どもの病気があります。地域の繋がりが希薄化し、子育て家族がいざというときに頼れる先は限られています。こうした状況を背景に、子どもが病気に罹った際、保護者に代わって保育を行う病児・病後保育に対するニーズが高まっています。しかしな

がら、板倉町にこのような保育機能を持つ施設はなく、ニーズに対応できていないのが現状です。保育サービスの拡充は少子化対策の重要な施策の一つであると思います。実現に向けてのハードルは高いですが、地域が一体となり、安心して子育てができる環境の充実に望みます。

ピ

ピンチをチャンスに

町ぐるみの暑さ対策

大字下五箇

飯塚直人さん



私は板倉町の今後の暑さ対策について考えてみました。猛暑の問題は、子供から高齢者まで住民全てにかかわる

ことなので、なにか町ぐるみの対策がないものかと考えています。非現実的と言われそうですが、炎天下や高温環境で働く農家や建設業者への何らかの支援、登下校や運動する子供達に冷却機能のある帽子などの熱中症対策用品の支給などできないものでしょうか。猛暑という負の要因を逆

用して、町独自の暑さ対策グッズの開発やゴーヤなど以外でも「緑のカートン」的なものを特産物で考えられたら、板倉町の活性化に繋がれるのではないのでしょうか。猛暑というピンチをチャンスに変えるような様々な工夫に満ちた板倉町になることを願っています。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。なお、定例会は下記のとおり開催される予定です。

◆ 6月議会定例会

- 会期 6月6日(火)～6月14日(水)
- 議事 副議長の選挙
各議案の審議・採決
一般質問

※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先
役場議会事務局 電話82-1111 内線511番

編集後記

今年の町内の入学式は満開の桜に見守られ、好天気の中挙行された。小学校の新入生は125名（東38、西60、南14、北13）、中学校は124名。この春の卒業生より入学生の数が多かったのは、西小、北小だった。当初、平成30年度に予定されていた西小と北小の統廃合は、平成32年に四校同時実施へと変更になった。

私の住んでいる地域ではまだ毎年大きなランドセル姿の新入生を目の当たりにできている。若い世代も見受けられる。しかし、町全体としては、子育て世代の定住は大きな課題である。若者が住みたくなる街とはどんな町なのだろうか？五十路に入り若干解り辛くなってきた。

（議会広報特別委員 針ヶ谷稔也記）